

あき とまこまい ねんまえ かいがん とまこまいし はくぶつかん  
すっかり秋になった苫小牧。40年前に開館した苫小牧市博物館  
たからもの ねん てんじ こ きしゃ こま  
の宝物が40年ぶりに展示されていました。子ども記者たちの細  
かんさつ そうぞうりょく むかし とまこまい う か い い  
かな観察と想像力で昔の苫小牧が生まれ変わったように生き生  
きとしたイラストや記事になっていきました。  
きじ へんしゅうぶ  
(編集部) (

9月20日[土]～11月30日[日]



# 小牧の文化財



ずし だいじ くろ きんいろ きば  
厨子といふまでの大事なものいは、黒と金色できれいだつた。騎馬  
むしゃえ え ひと くまもとじょう ひと きばむしゃえ  
武者絵といふ絵にかいてゐる人は、熊本城をつくつた人。騎馬武者絵はか  
み み ひと きえ  
なりえのぐがとれてよく見ないと見えない。むかしの人は木に絵をかいて  
いた。いしとかがまんなかにがついた金属のネックレスをしていたりして  
いたかもしれない。土器ってかなりうすい。 (大原ちづる)

わたしは、首かざり(タマサイ)について話を聞きました。円ばんのかざりは、タンスの引く部分だそうです。円ばんにある三本の線は、「トモエモン」というそうです。首かざりなので、たくさんボールがついていました。 (田野菜絆)



わたしは、首飾り(タマサイ)について話を聞きました。首飾りは、アイヌの女の人が大事なぎしきの時につけたそうです。首飾りの玉は、ガラス玉と言って、中国や本州から渡ってきた。何かと何かで交かんして、ガラス玉を手に入れたそうです。タイコについているもようみたいな物を「ともえもん」といいます。あばあちゃんからお母さんから子どもへとうけつがれてきた。(田野心絆)



きかくてん  
企画展

# にしき おか たる まえ さん じん じや えん くう さく たる まえ ごん げん ぞう 錦 岡 樽 前 山 神 社 円 空 作 樽 前 権 現 像

# 1666(寛文6)年前後 錦岡樽前山神社蔵



・円空樽前像旧厨

この厨子から、田空  
は金官で仏像をつく  
いたことがわかる。



わたししがわかったことは、全国  
で彫刻をしている人が北海道  
にきて、ちょうどそのとき、樽  
前山がふんかしていて、そのと  
き、円空さんが人びとのあんぜんをねがって、ちょう  
こくをして、そのせなかに、たるまえさんとかいてあ  
るのがわかりました。



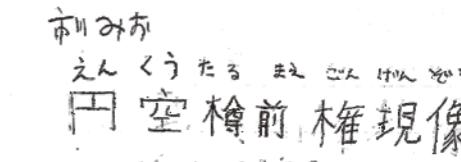


イラスト  
いちかわ みお  
市川 美音

えんくうさくたるまえごんげんぞう たいせつ まも いし よこ はこ  
円空作樽前権現像を大切に守るために石をけずってできたたてはばと横はばがぴったりの箱がすごかった  
えんくうさくたるまえごんげんぞうきゅうし やく あも よしもと  
です。円空作樽前権現像旧厨子は、約100kgの重さがある。**(吉本なつか)**



てんじしつ はつくつじ えいそう  
展示室では、発掘時の映像も  
み  
見ることがってきたよ！



イラスト  
たなか みづき  
田中 瑞紀